会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（三が丘自治会）
2　日時	平成 30 年 7 月 8 日（日）11：00～12：00
3　場所	三が丘自治会館
4　出席者	（資源循環課）熊澤課長、小田副主査 （環境事業センター）林所長補佐、鈴木主事、小宮技能労務員、石原技能労務員 （三が丘自治会）参加人数：19 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●有料化、戸別収集はいつから予定しているか。 →実施の有無については、31 年度中に皆さまにお示しをする予定だが、現在のところは未定となっている。 ●近隣市は有料化を既に実施しているが、茅ヶ崎市としてはどうするか。 →藤沢市は 10 年前から実施し、最近では逗子市と鎌倉市も実施している。海老名市も検討しているので、近隣の情報を得ながら、茅ヶ崎市にあった手法を検討していきたい。 ●審議会で 2 年を目処に有料化を検討していると説明されたが、その際、戸別収集は経費がかかりすぎると話を聞いた。それでも茅ヶ崎市は実施するのか？ →収集にあたっている職員が、戸別収集を実施した場合にかかる経費について、実際に現場で確認するなどの調査を行っており、その金額をもとに茅ヶ崎市が実施できるのかを精査したい。 ●審議会の時点では、現地調査はまだ実施していなかったか？ →当時は実施していなかった。 ●2 年間に 100 万円をかけてカラスいけいけネットボックスを設置したが､戸別になる場合、それは使えなくなるか？ →戸別の対象とするごみを検討中であり、仮に資源物は戸別とせず、集積場所を使うこととなった場合には必要となるかもしれない。 ●有料化と戸別収集についてモデル地区を設けて試験的に実施するか？ →有料化については、市民に負担をお願いすることとなるためモデル地区は実施しない。仮に実施する場合は、戸別収集についてのみ行うと思われる。 ●自治会に加入していない人への周知はどうするか？ →ごみアプリやインターネットなどを多用して周知をしていきたいと考えている。

	●広報紙に掲載しても、ごみ通信にも載せても、見ない人は見ない。戸別収集になることも知らない人が出てきてしまい、もう使用しないこととなった集積場所にごみ出しをしてしまうかもしれない。 →周知方法を引続き検討をしたい。 ●ごみの分け方・出し方に沿ってごみを出していない人が多い。しっかり周知してほしい。 →必要であるならば、分別だけの勉強会の実施についても検討したい。 ●有料化を実施した市は、一度ガクッとごみの量が下がったのち、横ばいの推移となっている。有料化導入後のごみの減量をどうするかも考えたほうがよい。 →資源化を推進することが考えられるが、資源化を推進するためにはお金がかかるため慎重に検討したい。現在、資源化できるものがごみに混ざっている状況であるため、適正な分別を行うことが一番のごみの減量につながると考えている。 ●ごみの分け方・出し方だけの勉強会を実施してほしい。 ●雑紙についてシュレッダーをかけていない場合、個人情報が漏洩することはあるか？ →シュレッダーをしていただいたほうがよい。 以上